

いしざきレポート



2006年5月

豊饒なる大地に
愛らしい苗が成長している

シナジー（相乗）効果

東京電力電柱に町名番地表示の推進

公明党

市議会議員 いしざき ゆきお

自宅：船橋市松ヶ丘5 - 46 - 4

自宅：電話・ファックス 469 - 7966

市役所控え室：電話 436 - 3032

《東京電力電柱に町名番地表示の推進》

18年度第一回定例議会で「火災の現場から」として次の質問をしました。

火災が発生した時、消防局への通報には電柱の住居番地表示が役立ちます。しかし住居表示未整備地域の電柱の中には町名のみあらわしているものがあります。住居表示未整備地区だからこそ町名と地番表示が必要であり、設置を要望いたしました。

この度、市役所担当課より要望しました点に関し、電柱の管理会社が広告看板の下のスペースにはすべて地番表示を入れているので、入っていない電柱がある場合は連絡をすれば対処するとの報告がありました。（皆様の声がかたちになりました）



「シナジー（相乗）効果」（成長する人と組織より：栗山直樹氏）

運動会の定番「綱引き」。力を合わせて団結の力を争う競技です。

ドイツのリンゲルマンという心理学者が、綱引きの力につき実験を繰り返し、全体の力が一人ひとりの力の総和に及ばないことを発見しました。何度実験しても、三人のグループでは二人半の力しか発揮できず、八人では四人分の個人の力も出せませんでした。人数が増えるほど力のロスが増えました。

これは「ぶら下がり」現象と呼ばれるもので、個人の努力が外からは分からないので、集団の力に「ただ乗り」しようという意識が生まれることによっているとされています。

したがって、綱引きは力を合わせる競技というより、どちらが力を抜く人が多いかを問う競技であるもいいます。

しかし、これは組織にとって無視できません。個人別に力を発揮した方が大きいなら、組織を作る意味は小さくなってしまいます。組織の力が、個人の力の総和より何倍も大きくなる「シナジー（相乗）効果」を持ってこそ、組織を作る意味が出てきます。

サッカーW杯・ドイツ大会に選手の多様性と団結力のシナジー

効果で、私たちサポーターに日本のサッカーを見せてほしい。